

伐木作業における重篤災害事例（令和 8 年）

事例 1

発生地：津市美杉町

被災者：43 歳

木材搬出用作業道の開設作業中、伐根した切株（約 500kg）を斜面に仮置きしていたところ転落。被災者はキャタピラーを作業台としてチェーンソーの目立て作業を行っており、転落した切株によりキャタピラーとの間に挟まれ死亡した。

事例 2

発生地：多気郡大台町

被災者：57 歳

傾斜約 40 度の急斜面において、かかり木の元玉切りを行ったところ、切断した木とともに滑落し、伐倒木に激突したものと推定される。多発外傷を負い意識不明の重体。

【イメージ図】

本図は、災害の概要を分かりやすく示すため AI を活用して作成したものであり、実際の現場状況等を正確に再現したものではありません。

